

交付金の活用を
知りたいあなたへ。

参加
募集中

農福連携

オンライン開催
参加費
無料

交付金活用セミナー

2024 2月2日(金)

13:30~15:30 ※13:00~ 受付開始

120分で
わかる!

農山漁村振興交付金 農山漁村イノベーション対策 (農福連携型)とは?

農福連携の一層の推進に向け、障害者等の農林水産業に関する技術習得、農業体験を提供するユニバーサル農園の開設、作業に携わる生産・加工・販売施設の整備等を支援します。

受講対象

- 農山漁村振興交付金 農山漁村イノベーション対策(農福連携型)に興味ある方全般
- 農福連携に係る障害者施設の開設を検討されている方

開催方法 オンライン

zoomURLをお申込後にご連絡申し上げます。

*リアルタイム視聴が難しい場合も、お申込者へは後日アーカイブ用URLをお送りします。

応募締切 2024年1月31日(水)

お問い合わせ

noufuku@notosoken.jp

お申込はこちらから ▶



講演内容

農山漁村振興交付金 農山漁村イノベーション対策(農福連携型)に関心ある方へ向けて、過去に採択された農業者・福祉団体の事業者による事例発表と、農林水産省による概要説明を行います。また、厚生労働省による農福連携に関する事業の情報提供を行います。

01 農業者による事例

「作業効率向上と就労者の自信創出及び収益拡大を実現」

株式会社希望ファーム 代表取締役

白石 拓麻 氏

農山漁村振興交付金を活用し、ピーマン栽培における農作業等の作業効率を向上し、就労者の技術習得と自信の創出を実現。販路拡大と通年業務による収益拡大にも取り組んでいます。



02 福祉団体による事例

「ジェラート加工販売等の6次産業化と農業法人設立を実現」

株式会社リーフェッジ 代表取締役社長

田中 基次 氏

農山漁村振興交付金を活用し、労働対価として得た果物をジェラートに加工・販売という6次産業化を実現。就労希望者の雇用のために農業法人を設立し、昨今ではアグリツーリズムにも取り組んでいます。



03 農林水産省からの概要説明について

04 厚生労働省からの農福連携に係る支援について

*セミナー内容は予告なく変更する場合がございます。